

2003 年度 委員会活動成果報告

(年 月 日作成)

委員会名	建設労働小委員会	主 査 名：蟹澤宏剛
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：嘉納成男
設 置 期 間	2001年 4月 ~ 2005年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	当小委員会は、建設産業における労働・技能について、産業、経済、社会、文化、技術等々広範な視点から学術的に検討し、シンポジウムの開催、著作等の活動を通して、建築学会として問題提起や提案をおこない、広く社会に貢献することを目的とするものである。	
委員構成 (委員名(所属))	蟹澤宏剛(ものつくり大学) 秋山哲一(東洋大学) 青木利光(金子架設工業) 今井 義雄(鈴木工務店) 坂本尚己(福井建設) 佐崎昭二(佐藤工業) 須田松次郎(大木建設) 辻村定次(建設政策研究所) 内藤睦夫(睦建設) 筆宝康之(立正大学) 藤澤好一(芝浦工大) 横山義雄(横山国際建設事務所) 吉村臨兵(奈良産業大学) 室 英治(竹中工務店) 六波羅 昭(勤労者退職金共済機構) 以上 15 名	
設置 WG (WG名:目的)		
2003年度予算	70,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003年4月24日、5月29日、7月8日、8月28日、10月22日、12月10日 2004年2月4日、3月17日 以上8回開催
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 諸外国の建設労働について、人材育成、社会保障、顕彰等の諸制度、産業構造などの観点から調査・研究をおこなった。その成果は、公益法人、業界団体、労働組合等の機関誌、新聞等に発表した。2003年度は、主に財団法人 建設業振興基金の機関誌「建設しんこう」に委員会メンバーが分担して連載をおこなった。 委員会においては、経済関連の学会、国土交通省からゲストを招き、意見交換をおこなっている。 また、本委員会の複数の委員が国土交通省および厚生労働省の職業訓練や能力開発に関わる委員会等に委員として参加し、今後の建設労働施策の検討に寄与した。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 建設労働に関わる諸外国の諸制度を網羅的に調査・研究し、資料をまとめる目標は達成できた。 成果を積極的に公表するという点に関しては、公益法人の機関誌にて発表することで達成ができたと考える。連載の最後には、行政の担当者を交えた座談会により、本委員会からの意見、提言を発信できた。 全体として、ほぼ当初の計画どおりの成果が得られたと考える。
その他評価すべき事項	委員の選定には建築学会の枠組みにとらわれず、経済学や土木学の専門家、専門工事業者、労働組合、業界団体、行政等の関係者等を積極的に登用することにより、本委員会がこれらの橋渡しとなり、委員会での討議・提言が広く世間に波及しやすい体制をとってきたことは評価に値すると考える。